

結核は多くの方が過去の病気であると思っているようですが、実は現在でも毎年2万人以上の方が結核にかかっています。今回は結核についてご紹介します。

## 結核とはどのような病気か

### (1) 結核とは？

結核とは、結核菌の感染によって起こる感染症のことです。かつては年間の死亡者数が約10万人にもなる「死の病」とも呼ばれていました。現在では結核の予防ワクチン接種や感染の防止方法、治療方法が確立したことから、患者数・死亡者数ともに大きく減少しました。しかし、現在でも、日本での患者数は年間2万人台、死亡者数も2千人台の水準で推移しています。世界的に見ると日本は結核患者が多い国の一つです。



結核は結核菌に感染した方全てが、発病する病気ではありません。感染後、半年から2年間におよそ10%の方が発病すると言われていますが、子供の頃に感染してから中高年になって、初めて発病する場合があります。一度結核菌に感染すると、免疫ができて結核菌に対する抵抗力は得られます。しかし、加齢による免疫力の低下が原因で中高年の方が発病する場合があります。また、不規則な生活などにより免疫力が低下し、結核を発病することもあります。

### (2) 結核の症状

最初、結核菌は呼吸により肺から体内へと入ります。多くの場合は肺の機能に影響が出ます。しかし、肺に入った結核菌が血液によって他の臓器に至り、そこで発病することもあります。

肺に異常を来す肺結核の割合は結核全体の約8割です。肺結核の場合は①せき、たんが多くなる(2週間程度続く)、②微熱が続く、③体重が減少する、④寝汗をかく、⑤全身がだるくなる、

⑥息切れしやすくなる、⑦血たん・喀血が出る、などの症状が出ます。患者の容態が重篤になると死に至る場合があるので、注意が必要です。結核菌の感染により、肺以外の症状には右表のようなものがあります。

病名	主な症状
結核性髄膜炎	発熱、意識障害が出る
頸部リンパ節結核	頸部に腫瘍ができる、赤く腫れが出る
結核性胸膜炎	胸が痛む、胸水が溜まる、呼吸困難となる、発熱
結核性腹膜炎	お腹が張る、腹水が溜まる、発熱
腎結核	膿尿(尿に白血球が多く含まれる)、発熱
脊椎カリエス	腰痛、発熱

### (3) 空気感染する結核

結核菌は肺結核の患者の咳やくしゃみの中で生存しているだけでなく、空気中に漂った状態でも生存しています。したがって狭く、密閉された室内は結核菌が長時間空気中に漂い、感染しやすくなります。

## 診断・治療・予防について

### (1) 診断は？

結核の感染を調べる方法としては、ツベルクリン反応検査(結核菌が生成したタンパク質成分を注射して反応を観察する検査)が行われていましたが、現在ではQFT(クオンティフェロン)検査という採血による検査が主に行われます。結核の進行状況は、①X線検査、②喀たん検査(たんに含まれる結核菌の検査)で診断されます。肺以外への感染が疑われる場合には、症状の現れている器官ごとの検査となります。

### (2) 治療と予防

結核の患者には複数の抗結核薬を組み合わせた治療が行われます。投薬期間は6～9ヶ月程度で、特に肺結核の初期は他人に感染する可能性が高いため、患者は隔離した病室で入院治療します。治療を続け、検査により他人に感染する可能性がなくなると、通院での治療も可能となります。

結核の予防のために、BCG接種が行われています。主に、重篤化しやすい子供のために、生後6～12ヶ月後の乳児に行われています。BCGによる免疫の効果は十数年と言われており、成人が予防のためにできることは免疫力を保つように健康状態を維持することです。

《皆様の安心と安全のプレイントラスト(専門顧問グループ)》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当：八城一浩

〒107-0052 東京都港区赤坂3-1-2 TEL:03-3582-4511